

広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

2007
JULY
7/18号



「わんぱくらんどのSL」
入園者を明るく迎え入れてく
れるSL「なかよし号」。
約100年前に小田原熱海
間を走っていた熱海鉄道の機
関車がモデルです。
往時の熱海鉄道と同じく、
開園以来毎日のように、子ど
もたちの夢と笑顔を乗せて走
り続けています。

ますます楽しい わんぱくらんどに

緑と水に恵まれた萩産・久野地域。
いこいの森や辻村植物園などに加え、
わんぱくらんどに新たな遊具が完成したことで、
子どもから大人まで、
ゆつりと自然を楽しみ、遊び、いやされます。

◎みどり公園 ☎33-1581

子どもの楽園わんぱくらんど

小田原こどもの森公園わんぱくらんどは、子どもが遊びに熱中できる感動と発見の公園です。地形を生かした豊かな自然環境の中で実際に体を動かして自由のびのびと遊べます。家族や友達と、さらにはポニーなどの動物と気軽にふれあえると大好評。

アスレチックなどが体験できる大型遊具もあり、子どもたちの歓声と公園内を走るSL型の列車が皆さんを迎えてくれます。そのわんぱくらんどに新しい遊具が仲間入り。小さな子どもから小学校高学年まで、幅広い年代の子どもたちが楽しめる遊具が夏休みに登場するのです。

「新たな遊具
『小田原城アドベンチャー』」

今回、新たに完成し、7月21日(土)から使えるようになるのが『小田原城アドベンチャー』。

小田原城をモチーフに、滑り台や一本橋、曲がりくねったトンネルやネット遊具など、遊びをいっぱい詰め込んだ子どもたちの夢のお城、もう一つの小田原城です。

忍者になつて忍び込んだ



多くの子どもであふれる大人気の遊具、コスモワールド

り、武士のつもりで正面から攻め込んだりと、子どもたちの想像力に合わせて、遊び方はいろいろです。

入り口には、南曲輪と銅門の2つのメイン入り口に案内板「城内通しるべ」を設けています。城内を駆け巡りながら、天守閣を目指してください。

モデルコースは三種類

モデルコースは、一番簡単な



近隣の施設で楽しむ倍増

わんぱくらんどで楽しんだ後は、近くのいこいの森や辻村植物公園へ。公園が近くにあるので、これらを組み合わせると訪れれば楽しさは倍増します。

ちょっと知的に、というときは辻村植物公園へ。竹林や梅林で有名ですが、小田原の風土に合ったちょっと珍しい植物を観察できます。

【辻村植物公園】



市が辻村農園主、辻村克良さんの協力を得て、開園した植物公園。

西洋の草花を主に扱い、種や球根を通信販売するなど、当時は先進的な農園でした。また、諸外国から取り寄せた樹木の種子で庭園や公園樹として植え、年月を重ねて風土に適したものが残ったので、ほかでは見られない外国原産樹の美しい公園となっています。

●みどり公園課 ☎33-1583

もっと自然に親しみたければ、いこいの森でキャンプやバーベキューを。自然の中で自分で作って食べる食事は、よりおいしく感じるでしょう。

【いこいの森】



キャンプやバーベキュー場、そしてきれいな渓流もあり、キャンプをしながらの川遊びなど、自然を満喫できる施設。また、木材をふんだんに使ったロジック風の建物、体験交流センター「きつつき」では木工の体験も可能。

さらに、2ヘクタールの広大なコースを持つバードゴルフ場も改修したばかり。森の中でシャトルボールを思いっきり打てるバードゴルフはゴルフ未経験者でも楽しめます。スポーツを楽しむなら訪れる森林浴も最高です。

●管理事務所 ☎24-3785

さらに車なら、ちょっと足を延ばせばフラワーガーデンや栗立おだわら諏訪の原公園もあります。家族そろっての思い出づくり、ちょっとした休日過ごすのに一度訪れてみてください。



今年の1月に仲間入りしたつり橋。新遊具までの道のりはスリル満点。



ミニSLは癒いの雰囲気。ゆったりと走る車窓の眺めは格別。



小田原城アドベンチャー

【わんぱくらんど】

開園時間 9:00～16:30

休園日 月曜日、祝日、年末年始

※夏休み期間(7月21日～8月31日)は月曜日も

開園(ポニー乗馬を除く)

入園料 無料(子ども列車片道大人300円、小人100円、ポニー乗馬300円)

交通アクセス

小田原駅西口3番バス乗り場から「いこいの森-わんぱくらんど」行きで約15分。終点すぐ(片道大人280円、小人140円)

●わんぱくらんど ☎24-3189



ポニー乗馬は子どもたちに大人気。動物のぬくもりを感じる機会。

楽しい遊び場がいっぱいあるよ★

「童の散歩道」から、最も難しい「忍者の試練」コースまで、子どもたちが自分の体力に合わせて選べるようになっています。

童の散歩道はスロープで構成されたバリアフリーゾーン。車いすのお子さんでも、補助があれば二の丸御殿まで行くことができます。

武士の修業コースは、堂々と正面から門をくぐって、天守閣を目指します。幅広い年齢の子どもたちが楽しめるコースです。保護者のかたも天守閣の展望台まで上がれます。

最も難しいのが忍者の試練コース。忍者になりきり、あちこちから小田原城に忍び込みます。子どもたちのチャレンジ精神を刺激する小学校中・高学年向けですが、最も楽しいコースになっています。

完成記念式典を開催

小田原城アドベンチャーと名前が「わんぱく大橋」に決まったつり橋の完成を祝して記念式典を開きます。遊具は式典終了時にオープンします。

日時 7月21日 10:00～

場所 わんぱくらんど内つり橋の「いこいの森」側

もうすぐ待ちに待った夏休みを迎えます。緑の中で元気いっぱい新しい遊びを発見してください。

政総研通信

小田原をより住みやすく、きらめく個性を放つまちにするための研究を続けている自治体シンクタンク「政策総合研究所」。「新しい城下町を考える」をキーワードに、研究を続けています。

◎政策総合研究所 ☎33-1405
✉prio@city.odawara.kanagawa.jp

昨年度の研究状況

平成18年度は、「新しい城下町を考える」心が豊かになるまちの姿（生活景）をめざして」をテーマに、22回の研究会と2回の市民公開研究会を行いました。

「生活景」とは、日々の営みが色濃くにじみ出た風景のこと。主に生活景へのアプローチや、小田原の生活景を研究しながら、小田原・万年地区の自治会長や地域のかたから課題や歴史などを聞き取り、調査を行いました。

研究の中から

研究を通して、城下町や東海道の宿場町の歴史を持つ小田原には、古い町名ごとに異なった生活景の特性があることが見えってきました。

また、長い歴史の中でその時代ごとの特色を持ったまちが作られていて、年代ごとの町の記憶が生活景として色濃く残り、現在、城下町としての古い町並みを見ることは少ないけれど、古い地図を片手に町を歩くと旧町名や路地道から、城下町

新しい城下町を生活景から考える

を感じる事ができる、いわゆる「町に記憶が残っているまち」となっていると考えました。写真は、これら小田原の生活景の特徴を写し出したものですが、町に記憶が残っているからこそ、見ることができると生活景なのです。

今年度の研究は

今年度は、新しい城下町づくりに向け、小田原の生活景を磨きあげるため「コミュニティの復活」「個性のあるまちづくり」「地域力の向上」と「実用的な自

然との共生」という4つの目標を立て、「さがす」「つなげる」「ひろげる」という3つのキーワードを基に、十字・万年地区を中心に活動を展開します。

元禄4年（1691）に小田原の町を通ったドイツ人ケンペルは、清潔な小田原の町のようすや人々が礼儀正しく品のよい服装をしていたことを記し、澄んだ空気と快適な環境もたらしたものと述べています。美しく清潔な町と評され、恵まれた風土・環境によって人々が快適に暮らせる町であった小田原の良さや歴史を再認識し、地域の人々が自らの力で景観を育成・保全し、次世代へ継承していく仕組みを作り出す先導的な役割を果たしたいと考えています。



小田原城の総構をしのばせる浜町付近。今は道になっている堀跡に沿って家が立ち並んでいる。

小田原大学ミッションもご利用を

大学ミッションとは、大学や大学院の学生の研究の場として、小田原を活用してもらうための活動です。研究、論文、レポートなどで地域に密着した調査をしたい、フィールドワークの場所を探している、小田原を研究したいかたは、ご連絡ください。

中間報告会を開催

平成18年度の活動と平成19年度の取り組みを報告します。

日時 7月19日木
15:00～

場所 市役所

建築物の中間検査の対象が広がります

平成10年6月の建築基準法の改正で、必要に応じて建築工事中の建物を検査できるようにした「中間検査制度」。

その対象に、今回新たに50㎡以上の新築の二戸建住宅や共同住宅などを追加し、検査を義務づけました。これによって、あなたの建てる家もその対象になるかもしれません。

●建築指導課 ☎331435



中間検査制度ってなに？

中間検査制度は、建物が地震などの災害に耐えられるような構造になっているかを、建築工事中の骨組みの段階で検査する制度です。

阪神・淡路大震災では、筋交いの不足や施工不良が原因と考えられる建物の倒壊など、重大な被害が多数発生しました。それを受け、本市ではより安全で安心なまちづくりを目指し、平

成11年12月1日から3階建て以上の木造建築物や、不特定多数のかたが利用する劇場・百貨店・旅館・病院などを中間検査の対象として検査をしています。

検査を受けるにはどうするの？

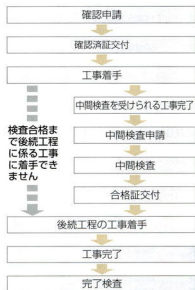
基本的に、市から検査を促す通知はありません。柱や屋根ができ、家の骨格が組み上がったから中間検査を受けられますので、4日以内に市の建築指導課か民間の指定確認検査機関へ申請をしてください。

申請には、手数料がかかります。金額は、検査対象部分の面積によって異なりますので、お問い合わせください。申請を受け付けた日から4日以内に検査を行い、合格したら合格証を交付します。

新たに対象となる建物は？

今回、検査対象として追加する建物は、新築の50㎡以上の住宅です。居住のための部屋があれば、その種類は問いません。

中間検査対象の流れ



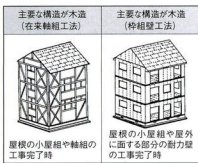
検査合格まで後続工程に係る工事に着手できません

一戸建て・長屋・共同住宅・寄宿舍・下宿・兼用住宅など、すべてが対象です。仮設の建物や物置など、人が住まない建物や物置を除き、市民の皆さんに直接関わる建物にも検査

範囲が広がります。

安全・安心に生活するために

この中間検査に合格しないと、その後の工事に取ることができず、再検査となります。もし、検査を受けずに工事が完了した場合、違法建築物となってしまう、家の転売や建て替えなどにさまざまな不利益が生じます。今回新たに対象となる検査の実施期間は、平成19年8月1日から平成20年11月30日までです。安全で安心な生活を送るための中間検査です。忘れず、必ず受けましょう。



財政状況



平成18年度の一般会計最終予算

一般会計は、市の基本的な行政事務の経費を中心とした会計で、18年度は、6月・9月・12月・3月に補正などを行い、最終的な予算は約571億8,000万円と、当初予算に比べて、23億8,000万円の増になりました。

平成18年度の主な事業

■市民の選択による

- 予算配分システム事業
 - 老人福祉施設充実整備事業の実施
 - 緊急情報広報システムの整備
 - マロニエ児童プラザの改修
 - 学校インターホンの整備
 - ほか4事業
- ※個人市民税の1%相当額の約1億円を、アンケートにより市民の皆さんが選んだ事業分野に、重点配分しています。財源として、ヒルトン小田原リゾート&スパからの財産貸付収入の一部を活用しています。

■おだわらルネッサンス推進本部事業

- 定住促進キャンペーン事業の実施
 - ママババ子育て知恵袋メール配信事業の実施
 - キャンパスエッセイ事業の実施
 - ふるさとの原風景百選事業の実施
 - ほか27事業
- ※政策実現宣言「マニフェスト」を著実に推進する「おだわらルネッ

サンス推進本部事業一に、約9,000万円を配分しています。

■総合計画「ビジョン21おだわら」の区分に基づく主な事業

- ★環境共生都市
 - 国道1号地区景観形成基準などの策定
- ★子ども森公園の整備
- 国道1号地区景観形成基準などの策定
- ★鴨宮駅自由通路施設などの整備
- 国府津駅前広場の整備
- ★生活福祉都市
 - 緊急通報機器の整備
 - みんなの保健室事業の実施
 - 消防南分署の整備
- ★文化創造都市
 - (仮称)城下町ホール整備の推進
 - 史跡小田原城跡馬出門樹形石垣復元事業の実施
 - スタディ・サポート・スタッフ事業の実施
- ★産業自立都市
 - 街なか起業家支援センターの運営
 - 就業支援事業の実施
 - 起業家体験キャンプの実施
- ★市民参加都市
 - 橋地域センターの建設推進
 - 市民活動サポートセンターの運営
 - 海外姉妹都市提携25周年記念事業

平成18年度の決算状況は、改めて「広報おだわら」でお知らせします。

依存財源 166億300万円 (29%)

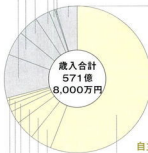
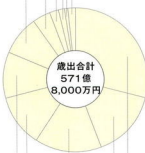
国庫支出金	55億1,200万円
市債	30億5,900万円
県支出金	25億8,600万円
地方消費税交付金	18億5,000万円
地方特別交付金	7億6,000万円
地方交付税(特別交付税)	1億5,000万円
その他(地方譲与税、自動車取得税交付金ほか)	26億8,600万円

その他(労働費、請支出金、予備費)

9億6,400万円
4億2,600万円
7億7,200万円
11億5,300万円
22億9,400万円
50億6,900万円

構成比の大きなものから民生費、総務費、土木費となり、市民生活に密着した福祉や文化行政、道路の整備などに重点を置いた予算になっています。

衛生費	59億3,600万円
公債費	67億円
土木費	85億5,400万円
総務費	87億1,300万円
民生費	165億9,900万円



自主財源は、皆さんの納めた税金など市が直接調達できる財源です。依存財源は、国や県から入ってくる財源で、額が国や県の基準で定められています。

自主財源 405億7,700万円 (71%)

市税	320億2,300万円
繰越金	27億3,900万円
請収入	24億2,100万円
使用料及び手数料	16億2,000万円
分担金及び負担金	8億4,100万円
繰入金	5億9,200万円
その他(財産収入、寄付金)	3億4,100万円

詳しい内容を知りたいかたは…

予算書や決算書などは、図書館と市役所4階の行政情報センターで閲覧できます。

毎年6月と12月に公表している小田原市の財政状況。今回は、平成18年度の最終予算の状況をお知らせします。

◎財政課 ☎33-1313

競輪収益金の使いみち (平成18年度予算額3億円)

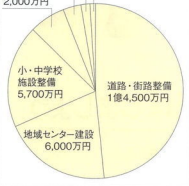
競輪からの収益金がさまざまな事業に活用されています。

体育・生涯学習施設整備
300万円

小田原駅前整備
500万円

河川整備
1,000万円

公園整備
2,000万円



会計名	予算現額
国民健康保険事業会計	192億2,200万円
競輪事業会計	185億600万円
老人保健医療事業会計	144億3,900万円
下水道事業会計	102億9,200万円
介護保険事業会計	88億1,500万円
宿泊等施設事業会計	4億9,600万円
公設地方卸売市場事業会計	1億5,400万円
天守閣事業会計	1億5,400万円
国民健康保険診療施設事業会計	3,800万円
合計	721億1,600万円

平成18年度の特別会計最終予算
特別会計は、特定の収入で特定の事業を行うため、一般会計と区分して経理する会計です。
市では、競輪や下水道、国民健康保険などの事業を、この特別会計で処理しています。

水道事業会計最終予算

	予算現額
収益的収支	収入 33億6,500万円
水をつくり、送り届ける予算	支出 32億9,100万円
資本的収支	収入 7億9,400万円
水を送り届ける施設を造るための予算	支出 23億6,000万円

病院事業会計最終予算

	予算現額
収益的収支	収入 90億9,000万円
病院を運営するための予算	支出 94億2,600万円
資本的収支	収入 2億4,100万円
施設などの整備にかかる予算	支出 8億2,900万円

平成18年度の企業会計最終予算
企業会計は、地方公営企業法の適用を受け、企業としての経済性を発揮し、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営する会計です。市では、水道と病院をこの企業会計で処理しています。

長期借入金の状況

(平成19年3月31日現在)

小田原市の長期借入金(市債)の内訳です。

一般会計の残高は544億3,600万円、市民一人当たりで計算すると、27万5,700円になります(前年同期 29万1,200円)。

なお、特別会計と企業会計の合計残高は730億7,700万円、市の長期借入金の残高合計は、前年に比べ約40億円減少しています。

	残高	前年との比較
一般会計		
土木債	153億4,600万円	△9億6,100万円
教育債	118億5,700万円	△7億2,400万円
減税補てん債	74億8,100万円	△2億1,200万円
総務債	24億7,500万円	△2,900万円
衛生債	19億6,100万円	△4億7,000万円
消防債	17億8,400万円	6,800万円
その他	135億3,200万円	△6億6,100万円
特別会計		
下水道債	573億3,800万円	△8億1,500万円
その他	1億2,000万円	△3,400万円
企業会計		
水道債	124億900万円	△3億200万円
病院債	32億1,000万円	1億4,100万円

市民一人当たりいくら使われているかを計算してみると…

市民一人当たりの市税納入額
162,200円

市民一人当たりに使われる
合計額
289,700円



福祉の充実のために【民生費】	84,100円
防災対策・住民登録・市庁舎の維持管理などのために【総務費】	44,100円
道路・公園・河川の整備のために【土木費】	43,300円
借入金の返済のために【公債費】	34,000円
健康対策と清潔なまちづくりのために【衛生費】	30,100円
学校教育・社会教育施設の整備、文化財の保護のために【教育費】	25,700円
火災・水害などから守るために【消防費】	11,600円
その他議会の運営、労働者の福祉向上、いざというときのために【議会費、労働費、諸支出金、予備費】	7,100円
商工業・観光の振興のために【商工費】	5,800円
農業・水産業の振興のために【農林水産業費】	3,900円

(平成19年3月31日現在の住民基本台帳による人口197,393人で計算)



適度な運動で 健康寿命を延ばしましょう

～地域元気アップへの取り組み～

健康で長生きをする、それは多くのかたが望むことでしょう。しかし、そのためには食事や運動など、さまざまなことがらが関連するはず。市でも、健康なまちづくりを目指し、皆さんを応援していきます。

◎健康づくり課 ☎47-0820 高齢介護課 ☎33-1864

平均寿命より健康寿命

健康寿命とは、元気で生活できる期間のこと。自分の寿命まで、元気に楽しく暮らすためには、日ごろのちよっとした心掛けと、それを応援してくれる家族やご近所、仲間とのコミュニケーションがとても大切です。

市が皆さんの健康への意識などを近隣市町と比較し、分析したところ、例えば、脳卒中で亡くなるかたの割合が他市より高かったり、運動習慣のあるかたが

やや少なかったり、若いころに比べて体重が7キロ以上増加したかたが多い、健康診断の受診率が低いなどといった課題があることが分かりました。

そこで、若いかたから高齢のかたまで年齢を問わず、健康寿命を延ばしてもらうため、生活習慣病の予防や介護予防の取り組みを進めることにしました。

その第一歩が運動習慣を効果的に身につけてもらえるよう、皆さんが住んでいる地域で仲間たちと楽しく行う運動教室などのです。

市長臨想

九百人との対話

文 小澤良明

九二年間にわたった市上級主査以下の若手職員約九百名との六十回を超える昼の懇話会を終えた。忙しい勤務時間や折角の休憩時間を潰すことになった職員にとつては、一応緊張もするだろうし、大変なことだったと思うが、私も日程のやりくりにはひと苦労した。

平成十六年九月、行政改革の一環として職員意識調査を行った。全二十六問、全て記述式のポリウムたつぶりの調査で、市政の課題から、庁内組織や人事、処遇に至る幅広い問題について、職員からの「市長への手紙」という形で回答を求めた。回答率六十七%、賛意や疑問、期待や不満、不安とさまざまな反応が匿名だけにナマナマしくかつ率直に寄せられた。中でも幹部職員と一般職員との間の意識のズレに私自身危機感を持ち九百人との直接対話となったのである。

意見や質問も数えきれないほど出た。「非常災害時の対応の本人開示すべき」「市長のストレス解消策は?」「市長はもっと出先や現場に足を運んで欲しい」。それぞれに丁寧に答えながらも私は忙しい。あらためて一人一人の名前と顔を記憶



広げよう！
健康の輪

中高年のかたには「元氣アップ教室」

元氣アップ教室は、保健師や健康運動指導士などが皆さんの住んでいる地域に出向き、講話や自宅でできる運動方法などを教えるもの。約6か月の間に3回、スタッフからの指導を受けながら、自宅などでも実際に運動をしていきます。

今話題の「メタボリックシンドロームの予防」について、医師や管理栄養士の話もあるほか、健康おだわら普及員などが地域で開催する健康づくり事業にも参加しますので、楽しく運動を続けられます。

教室の最初と最後には簡単な健康チェックや体力測定を行いますので、6か月の間の効果を確かめられ、その結果がこれからも運動を続けようという意識に結びついていくはずですよ。

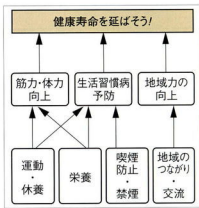
高齢者には「筋力向上トレーニング教室」

だれでも運動をしなければ、体力的に衰えます。高齢者ならなおさらです。

そこで、市では、高齢者の体の状況に合わせて運動コースを用意しました。問診や体力測定をして、身近な公民館などで運動を行う「筋力向上トレーニング教室」と、いそぎの体育室で運動をする「楽ラク」貯筋教室です。

ストレッチやセラバンドというトレーニング用のゴムチューブを利用するなど、参加者の健康状態や希望に応じて適度な運動を行うことで、「体を動かす習慣ができた」「体が軽くなった気がする」「教

健康寿命を延ばそう！



皆さんもご参加を

さまざまな健康の課題を改善し、健康寿命を延ばしてもらうため、このようにはまず生活習慣病の予防や介護予防の取り組みを中心に行います。しかし、これらのものはこれまで、市はもろろんのこと、いろいろな団体や地域がそれぞれ行ってきたりもするのです。

今回は、それらを連携して行うことで、より効果的に健康づくりを進められるようになっていきます。元氣アップ教室や筋力向上トレーニング教室は、いそぎや5つの地域で行います。また、地域で方向向上トレーニング教室は、いそぎや5つの地域で行います。また、地域で行う教室も、数年をかけて、市内の全25地区で実施していきます。その地域には、回覧版で開催をお知らせしますので、ぜひともご参加ください。

室が楽しい」といった声も。実際に、教室後の測定でも体の動きや体力が向上しており、その効果が裏づけられています。

し直しながら、何となくそれぞれの個性を掴む。職員の間も私の素顔に直接接して、いろ／＼と評価する。ありのままを両者それぞれが判断する。厳しいが有意義であることには間違いない。回を重ねる毎に庁内を歩いていて、以前と違って何となく暖かい空気を覚えた。当り前のことだが職員の間から先に挨拶される事も多くなった。昼食を共にする、多話する、目と目を見つめる。職員数は二千名弱、決して大企業とは言えない規模である。その責任者として当然もつと早くやって然るべきだった。

「市長は雲の上の存在だと思っていたが、私達の仲間であるところだも思った」と「他課の職員の方えも聞くことができて良かった」「政策決定過程における市長の苦慮が良く分かって有意義だった」「市長は現場を分かっている、言葉だけ飾っていると思っていたが誤解だと分かった」「自分の仕事を省みる良い機会だった」…。一部である。小田原市役所は「一般の船。私にはみんなを支えられている、そんな想いをあらためて培った二年間だった。」



チャレンジ！中心市街地！

街なかになびわいプロジェクト第1弾 「街なかカフェ」

◎産業政策課 ☎331519

小田原駅前緑の潤いとにぎわいの場所として整備を進めている北條ポケットパーク周辺で、6月2日、3日に「街なかカフェ」を行いました。「街なかカフェ」は、街なかになびわいプロジェクト実行委員会が主催する取り組みの一つで、テーブルとイスを鋪通りに置き、訪れたかたたちが一息入れたくなる、にぎわいの場づくりです。



天候に恵まれたこともあり、通りで飲み物を買って、いすでくつろぐ姿が目に残りました。また、カフェイベントとして季節感のある青梅の販売、梅シロップづくり体験、梅ジュースの試飲を行い、道行く人たちの興味を誘っていました。なお、この街なかカフェは、今後も月1回程度行っていく予定です。

おだわらインフォメーション

Odessa Information

地下街の公共通路は利用できます

◎管財契約課 ☎331320 企画政策課 ☎331379

小田原駅前の地下街、アミーおだちかの営業は6月30日に終了しましたが、地下街の公共通路は、これまでと同じように利用できます。通路利用時間 6時～22時

なお、今後の地下街のあり方は、商業用施設としての活用を前提に、まちづくりの幅広い視点から総合的に検討しています。

Odessa Information

全国広報コンクールで 市のホームページが2年連続入選！

◎広報広聴室 ☎331263 情報システム課 ☎331264

市では、インターネットによる行政サービスの提供など、情報化施策を進めています。その取り組みは、全国自治体の情報化の進み具合などを比較した日経B P社の「e都市ランキング2006」でも、1,613自治体中16位に入ると、高い評価を受けています。

これからも、使いやすさはもちろん、インターネットの利点を生かして新しい情報をいち早く、分かりやすく提供します。

また、市民の皆さんの暮らしがより便利になるような情報化施策にも取り組んでいきます。

さらに、日本広報協会が「平成19年全国広報コンクール」のホームページ部門で全国192の参加自治体の中から、11の受賞団体の一つに選ばれ、全国で唯一、2年連続の入選となりました。



AED(自動体外式除細動器)を設置しました

人に優しいまちづくりプロジェクト
くおだわらルネッサンス推進本部事業へ

●警防課 ☎49 4 4 4 0

市では、市民の皆さんの身近な公共施設にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。

AEDは、心臓に電気ショックを与えることで、正常な状態に戻すための医療機器。

今年度、新たに13施設に設置したので、合計で市内の21施設に整備したことになります。

AEDは、心臓の停止から使用までの時間が短いほど有効で、使用時の生存率は、使用しなかった場合の5倍といわれています。

ですから、救急車が現場に到着するまでの平均約6分間に、その場に居合わせた人がAEDを使った救命処置を行うことがとても重要です。



市役所・市民会館・小田原アリーナ・小田原球場・いそぎ・小田原競輪場・マロニエ・いづみ

【新たに設置した施設】

斎場・社会福祉センター・天守閣・歴史見聞館・フラワーガーデン・わんぱくランド・生涯学習センターけやき(旧:中央公民館)・尊徳記念館・城山陸上競技場・小田原テニスガーデン・市立図書館・かもめ図書館・消防本部(イベントなど貸出用)

※各施設の職員は、普通救命講習1を修了しています。

AED設置施設一覧
(平成19年7月現在)

おだわらインフォメーション

8月は食事代などの減額認定証と受給者証の切り替え月

●保険課 ☎33 1 8 4 3 (老人保健)
☎33 1 8 4 5 (国民健康保険)

認定証

7月31日までの次の認定証をお持ちのかたには、更新用の手続き書類を7月下旬にお送りします。

新たに取得するかたは、健康保険証と老人保健法医療受給者証、国民健康保険高齢受給者証などを持参して、市役所、支所・連絡所、住民窓口で申請してください。

受給者証

●老人保健法医療受給者証
一部負担金の変更があるかたには、7月下旬に新しい証をお送りします。

●国民健康保険高齢受給者証
7月下旬に、対象のすべてのかたに新しい証をお送りします。

●標準負担額減額認定証

入院時、医療機関で支払う食事代などが減額されます。

対象 市県民税非課税世帯で70歳未満のかた

●限度額認定証

入院時、医療機関で支払う一部負担金が一定限度までになります。

対象 70歳未満で保険料に未納がない世帯のかた

●限度額適用・標準負担額減額認定証

入院時、医療機関で支払う一部負担金と食事代などが一定限度までになります。

対象 市県民税非課税世帯のかた



行革アクションプログラムの成果を報告します【平成18年度】

「地域の活性化」「財政運営システムの見直し」「職員の意識改革」「主体的自治の確立」「市民満足度の向上」の5つを目標とした市の行政改革。平成18年度の主な取り組み結果を報告します。

● 行政経営室 ☎ 33 1 3 0 5

市の行政改革は、平成14年度以降、従来の職員数の削減、業務の効率化、コスト削減だけではなく、市民満足度の向上や地域の活性化にも取り組みを進めてきました。

市民満足度・重要度調査に基づく市民の選ぶ予算の使い道制度や市民満足度向上行動計画の策定、部局長の人事・財政の裁量権を拡大したことによる的確でスピーディな事業展開などの仕組みも整え、行政運営を行っています。

地域の活性化

■ 市民の企画運営により「市民劇場」を開演

世界の名指揮者の小林研一郎さんを招き、平成19年3月25日に開催しました。

合唱団への参加は260人、来場者は900人に上りました。

■ 街づくりルールの形成を促進
街づくりルール改革計画を策

定するとともに、市民との協働によるまちづくりの仕組みの一つとして、街づくりプロデューサーの登録を行いました。

財政運営システムの見直し

■ 人件費を削減

前年度に比べて51人削減して職員数は1,910人となり、2億8,951万円の人件

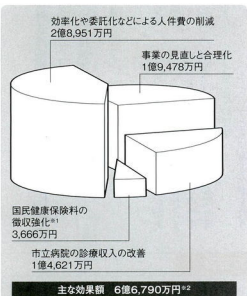
費を削減しました。

また、ピーク時の平成6年度からは、428人、25億2,774万円の削減となります。

補助金支出を見直し

■ 削減しました。

見直しにより4,435万円削減しました。
また、「補助金は税金により賄われる」という認識のもと、交付団体などが成果目標を定め



※1:平成19年4月末時点の実績に基づく推計値
※2:そのほか(資産の有効活用など)の74万円も含む

るようルールを変えました。

職員の意識改革

■ 職員提案を実施

提案した職員自らが事業化できる仕組みを用意するなど、実効性が高まるようリニューアルし、86件の提案の中から、2件の提案が予算化・事業化されました。

主体的自治の確立

■ 部局長による「市長との約束」と「所信表明」を実施

部局長が、市民満足度向上行動計画などからなる「市長との約束」を行うとともに、所属する全職員に「所信表明」を行い、部局長のマネジメントによるスピーディな施策展開を推進しました。

市民満足度の向上

■ FMおだわらを開局

平成19年3月に開局、放送を

開始し、緊急災害放送をはじめ、タイムリーに的確に行政情報が提供できるようになりました。

住民窓口のサービスを拡充

平成19年7月からマロニエ住民窓口を土・日曜日、祝日開庁し、住民票・印鑑登録証明書の交付と公金収納を実施するとともに、10月には下曽我支所を駅に近く、駐車施設の充実した梅の里センター内へ移転することとなりました。

庁舎外における福祉相談会を開催

市役所以外の場所でも3回、福祉相談会を開催し、延べ169件の相談に対応しました。

なお、市では、平成14年度から10年間の行政改革の方針を定めており、平成18年度までの前期5年間の取り組み結果がまとまり次第、その内容と今後の5年間の取り組みの概要を報告します。

合併検討会情報

CHUJIBI
MINAMIHONGU-CHI
KAKIJI
SHI
WATASEI
TAMAKI
KANEI
HAKOME
HAKAZAKI
TETSUAKI

県西地域の今後の姿を検討するため、2市8町（小田原市・南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町・箱根町、真鶴町、湯河原町）で設立した「県西地域合併検討会」が、第1回委員会を開きました。

会議では、検討の基本方針として、合併を想定した場合の圏域全体と各地域の将来の都市像を描くほか、住民生活に密着した行政サービスの变化など、合併のメリットやデメリット、課題を明らかにすること。それらの情報を住民の皆さんや議会と共有して、合併の議論を各市町で十分に深めていくこと。

そのうえで、平成22年3月末までに、さらに具体的な協議をする合併協議会への参画を判断することなどが確認されました。

また、市町村合併をした場合に行政サービスの水準や負担はどう変わるのか、生活に関係の深い約200項目の事業を選

企画政策課 ☎33-1239

5月14日 第1回委員会のようす



び、関連する分野別に「企画」「財政」「管財・総務」「人事」「電算」「税」「住民・国保」「環境・防災」「福祉・健康・社協」「学務・社会教育」「農林水産・商工観光」「都市計画・建設」「上下水道」「消防」の13分科会を設置し、事務担当者による検討を始めた。

市町村合併を住民の皆さんと一緒に考えていくため、検討状況は、広報おだわらなどを通じて積極的にお知らせしていきます。

また検討会のホームページも近く開設する予定ですので、こちらもご覧ください。

姉妹都市チュラビスタ市への派遣青年が決定

本市の青年と姉妹都市のアメリカ合衆国カリフォルニア州チュラビスタ市の青年との相互交流事業を行っている小田原海外市民交流会。24回目となる今年も、4人の青年を派遣することになりました。

派遣される4人の青年は、事前研修や、チュラビスタ市からの青年を迎えて国内交流を行った後、8月4日(土)に渡航し、18日間にわたって、ホームステイやボランティア活動などを通して、両市の親善を深めます。この4人にチュラビスタ訪問への意気込みを聞いてみました。



一木 紀江さん

笑顔は世界の共通語！持前の笑顔を生かして、多くの人とコミュニケーションを取り、かけがえない思い出を作りたいです。



奥島 玲香さん

貴重な機会を与えてくれた小田原のかたに心から感謝しています。小田原の良さ、住んでいる人々の良さを精一杯伝えています。



黒河内 瑠依さん

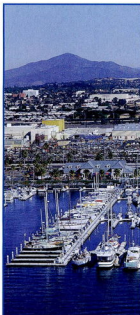
市の代表としてチュラビスタの人たちと、お互いの街について積極的に意見交換し、たくさんの方と学んでいます！！とても楽しみです。



村山 寛明さん

初めての外国体験で、さまざまなことが待ち受けていると思いますが、市とチュラビスタ市のスマイルのために18日間頑張ります！

文化交流課 ☎33-1703



「群雄割拠・戦国バンク」を 世界の強豪選手が走る!!

ワールドグランプリシリーズ07 第4戦 in ODAWARA

7月6日(金)～8日(日)の3日間



最終決戦のワールドグランプリへの出場をかけて、世界トップクラスの選手と日本競輪界の主力選手が全5レースを戦い抜くワールドグランプリシリーズ07。

◎事業課 ☎23-1101

初めての国際競輪

国際競輪は、9人の外国人選手を招き、日本の競輪選手と全国を転戦して競うもの。今年は1戦につき3か所の競輪場でレースを行い、第1戦から第5戦までで合わせて15回開催されます。そして、成績優秀者は「サマーナイトフェスティバル」内の最終レース、ワールドグランプリで雌雄を決するのです。小田原競輪場でのレースはそのうちの第4戦。小田原けいりん58年の歴史の中で、外国人招待選手がレースに出場するのは初めてのことです。

手に汗握るレースに

このシリーズは、圧倒的パワーを誇る外国人選手を日本人選手がテクニクとチームワークでどこまで押さえられるかが見どころの一つ。小田原にやってくる外国人3選手は、いずれも自転車ワールドカップや世界選手権で優勝や準優勝したことがある強豪ばかりです。なかでもリーダー格のクレイグ・マクリン選手は2006、07年のワールドカップスプリントで優勝、昨年の国際競輪でも12戦8勝という爆発的な強さを見せているのです。

対する日本人選手には、小田原競輪場の特徴である、日本でも屈指のカント(傾斜)のあるコースを走っている経験が有利にはたらくことでしょう。

33バンクを利用して、マクリンの捲り(捲り)を止めるのはだれだ!

※捲り：最終周回(ラスト)スパートして、先行車を一気に抜き去ること。

【出場予定選手】



シュテファン・ニムケ
(ドイツ)

国際競輪出場 初
主な戦歴
2006-07ワールドカップ
第2戦スプリント 2位



クレイグ・マクリン
(イギリス)

国際競輪出場 4回
主な戦歴
2006-07ワールドカップ
第1戦スプリント 優勝



アンドレイ・ビノクロフ
(ウクライナ)

国際競輪出場 3回
主な戦歴
2006-07ワールドカップ
第2戦ケイリン 優勝

初心者からベテランまで、みんなにうれしいファンサービス

毎日が
イベントDAY!
本場開催時には
抽選会などの
イベントを
毎回開催!



勝利の女神!
SUN'S
ガールズが
場内を
盛り上げる!



- 冷房完備の無料休憩所
- リッチな気分を楽しめる特別観覧席
- 冷たいお飲み物の無料サービス
- どこか懐かしい雰囲気の内売店
- 初心者も安心! ガイダンスコーナー
- お子さん連れでも大丈夫、キッズコーナー

ワールドグランプリの興奮も冷めやらぬ**8月18日(金)～21日(日)**、小田原けいりん最大のレース「北条早雲杯争奪戦(GⅢ)」今年の夏は、2か月連続で超一流選手が小田原の地に集結! そして、今年も同時開催「小田原けいりん夏まつり」!

今月の笑顔

元気あふれる人たちの笑顔は、
見ている人たちにも
力を与えてくれるもの。
このコーナーでは、
みんなが元気になるように、
すてきな笑顔をお届けします。

「すこくうれしかったですよ。
なんでこんな記録が出るんだ
ろうって、自分でも信じられな
かった」

まさに今、表彰台の一番高い
所にいるかのように、昨年7月
のジャパンマスターズ水泳での
感動を話す飯田さん。男子65
69歳の部・50mバタフライに出
場し、自らの世界記録を塗り替
え30秒33というタイムをたたき
出したのです。

水泳を始めたのは中学2年生
のころ。父親の会社のプールで
泳ぐ社員を見て、「自分もあのよ
うにすばらしい泳ぎをしてみた
い」とあこがれ、水泳部に入部。
練習に明け暮れ、団体などさま
ざまな大会で好成績を残し、昭
和39年のオリンピック強化選手
にも選ばれたほどのスイマーで
す。しかし、就職してからは水泳
から離れてしまい、気づくと体
のことを気にするような年代に
。「このままじゃいけないと思
いましたね。初めは、健康づく
りのためだったんですよ」



飯田 智康さん

(厩町在住)

FIAマスターズスイミング大会やジャパンマスターズ
のバタフライで世界記録を更新

一念発起して再び泳ぎ始めた
のが43歳。1日2,000mを
泳いでいると昔の感覚が戻り、
大会への意欲も湧いてきたと言
います。

そして、ここからが快進撃。
50歳のときにはマスターズで
日本新記録、現在は世界記録保
持者。今年7月のジャパンマス
ターズと来年オーストラリア

のペースで開かれる世界マス
ターズにも挑戦するそうです。

「年を重ねるのが楽しみなん
です。70歳を目指したら次の年代
の世界記録を目指すという目標
が持てるでしょ。目標を持つと、
それが力になるんです。」

66歳とは思えない飯田さんの
胸に、新しいメダルが輝いてい
るようでした。

Close Up

注目の情報をお届け!

矢作自治会が 環境大臣表彰



毎年6月は「環境月間」。国では環境大臣が、地域
の環境保全や環境美化に大きな功績があったかを表
彰しています。今年も6月11日に表彰式が行われ、地
域環境美化功績者として、本市の市民団体としては初
めて、矢作自治会（村山行健会長）が表彰されました。
矢作自治会は、昭和50年から「小田原をきれいなま
ちにしよう」を合言葉に、月2回、自治会内の神社や
公園を掃除したり、毎年5月と8月に地域の河川（菊
川）の土手や神社の草刈りをしたり、1週間に1回の
ペースでごみステーションの巡回パトロールを行って
りするなど、地域の美化活動に力を入れています。
この活動によって会員はもちろん、地域のかたの環
境への意識が高まり、活動の輪が広がりがつあること
が評価され、今回の受賞となりました。

（村山矢作自治会長）

この活動は矢作自治会の伝統で、諸先輩の努力が評
価され、とてもうれしく思います。これからも地域の
美化意識や連帯感がさらに高まるよう、活動を続け
ていきます。



連載

学校自慢!

このコーナーでは、小・中学校でのユニークな取り組みを紹介し、子どもたちの生き生きとした表情を見ると、小田原の未来も安心!という気持ちになりますね。

◎教育政策課 ☎33-1671

今月号は…

大窪小学校

(児童数: 286人)



大窪再発見! 開校記念日を祝う日

大窪小学校の学区には、日本最古の公共水道とされる小田原用水をはじめ、室町時代以前に建立された香林寺や妙福寺などがあります。

また、昭和の電力王と呼ばれた松永安左エ門の老樾荘(松永記念館)や明治の元老 山縣有朋の古稀庵など、明治から昭和にかけて日本を代表する人たちの別邸があります。そのほかにも、長興山の歴史的名所が多くあります。

これらの史跡に子どもたちが目を向け、関心を持ち、地域の皆さんとふれあえるよう、毎年4月16日に全児童が参加する「開校記念日を祝う日」を行っています。

当日は、全校集会で地域のかたから子どものごころのお話を聞き、その後、各学年別に地域に出掛け、実際にいろいろな史跡を見学します。そこでは、昔の遊びをしたり、地域にお住まいのかたや歴史に詳しいかた、お寺のご住職やきらめき出前講義の市の職員からお話を聞いたりもします。

子どもたちは、自分たちの身近なところに「こんなに古いものがあった」「知らない所がたくさんあった」と驚くとともに、今まで何となく見ていた自分たちの町が新鮮に見えてくるようです。

このような体験から地域を愛する心が育つてくると思います。これからも、地域の皆さんと一緒に、より良い「開校記念日を祝う日」を行っていききたいと思えます。

私は松永記念館に行けて、とても良かったと感じています。最も心に残ったことは、松永さんが使用していた茶室を見学したことです。

なぜなら、どの部屋もお茶ができるように、天井が低くなっていたからです。人間が落ち着くくらいの高さなので、とても心が安らぎます。

松永さんも、そのたくさんのお友達も、その中でお茶をしながら、きっと幸せな気持ちになったことだろうと思う、歴史の重みを感じた時間でした。



吉田 春菜さん
(6年生)

香林寺の鐘楼には、古くなく少し黒っぽくなった壁の絵が描かれていて、私が生まれるずっと前からあることに驚きました。昔から変わらずにそのままの形で残っていることがすごくと感じました。

老樾荘は、扉を開けたら階段があったり、いろいろな歴史があったりして迷宮みたいでした。もしこのような広い家があるなら住んでみたいと思いました。小学校の近くこんなにたくさん歴史があることが分かったので、大切にしたいと思います。



後田 桃子さん
(6年生)

おだわら

花通信

さまざまな花に彩られ、四季折々の表情を見せるおだわら。毎月、花の名所を紹介します。

4

小田原城址公園

小田原フラワーガーデン

◎観光課 ☎23-1373

フラワーガーデン ☎34-2814

いよいよ夏本番。真夏の花の少ない時期の彩りとして有名なのが、城址公園の「大賀ハス」です。大賀ハスは植物学者の大賀一郎さんが、昭和26年に千葉市の弥生時代の地層から2,000年も前のこのハスの実を発見し、開花に成功させたもの。その後、全国に広まりました。藤瀬前のお堀に群生し、夏の風物詩となっています。見ごろは7月中旬から8月中旬まで。日の出とともに花が開き、午後には閉じますが、一斉に花開く姿は壮観です。

また、フラワーガーデンでは、熱帯原産のウオーターボビーが黄色い花を咲かせています。花は5cmほどの小花で一日花ですが、次々に咲き、群生となります。



↑城址公園の大賀ハス



↑フラワーガーデンのウオーターボビー